

市民病院および周辺地域のまめ知識情報をお届けします。

病院巡歩

Vol 2. 免震構造

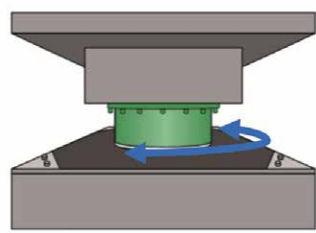
市民病院は免震構造を採用し、高い耐震性を確保しています。病院の建物と地面は免震層と呼ばれる場所(写真1)で構造的に切り離され、**積層ゴム支承**と**弾性すべり支承**で建物を支え、**オイルダンパー**で地震の揺れを低減しています(下図参照)。これにより地面が揺れても建物は免震層の上を滑るように動き、揺れが低減されます。このため、建物周囲には約60cmのすき間を設けております(写真2)。



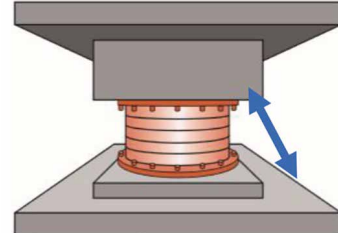
(写真1) 免震ピット階 免震層



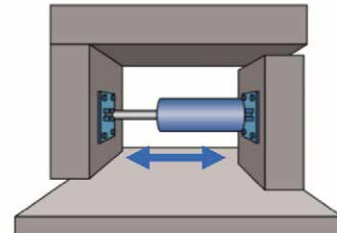
(写真2)



弾性すべり支承



積層ゴム支承



オイルダンパー

出張講座を開催しました

7月10日(水)に、「子宮脱」をテーマに、吹田市立市民公益活動センター(ラコルタ)で出張講座を開催しました。講師は当院産婦人科部長の横田医師でした。高齢に伴い骨盤内の臓器が徐々に下がってくる子宮脱について、その症状や、治療法などを紹介しました。横田医師からは、あまり人に話せずに悩まれている方が多いので、気になれば医療機関を受診してほしい、とお話をしました。



市立吹田市民病院のシンボルマーク

生命力が強く、長命で巨木となることで親しまれている市民の木、「くすのき」をモチーフに、聴診器を木の幹に見立てたデザインにしました。また、市民が集まる、地域に根差す病院であることを表しています。



平素より市立吹田市民病院だよりをご愛読いただきありがとうございます。ご意見がございましたら市立吹田市民病院までご連絡ください。

この冊子は2000部作成。一部当たり33円です。

●編集・発行 市立吹田市民病院 広報委員会

吹田市民病院 だより No.71

〒564-8567 吹田市岸部新町5番7号
TEL (06) 6387-3311
FAX (06) 6380-5825
ホームページ
<https://www.suitamhp.osaka.jp/>
メールアドレス
shomu@mhp.suita.osaka.jp



市民病院では移転後、新たに**救急専用病床**を設置し、ICU(集中治療室)とあわせて、吹田市の**二次救急診療**を行う医療機関としての役割を強化しました。

また、救急外来入口と救急車搬送入口を分離し、交差のない患者動線を実現しており、さらに救急と放射線部門は隣接し、手術、ICU、救急病棟へはエレベーターで迅速に搬送が行える部門配置となっております。

市民病院では毎年約4000名近くの方が救急外来を受診し、1000名以上の方が入院されています。今回は市民病院の救急医療についてご紹介します。



「救急専用病床」とは??

救急医療を要する方のための専用病床です。当院は救急病床が8床あり、救急医療を要する傷病者のために優先的に使用される病床です。



「二次救急」とは??

入院治療や手術を必要とする重症患者さまに対応する救急医療のことです。

三次救急

一次、二次救急では対応が不可能な重篤疾患や多発外傷に対する医療を担います。近隣の医療機関では大阪大学医学部附属病院や千里救命救急センターがあります。

二次救急

入院や手術が必要な疾患に対する医療を担います。
当院は二次救急病院です。

一次救急

入院治療の必要がなく、外来で対処しうる帰宅可能な比較的軽症に対応する医療です。普段かかっているかかりつけ医(診療所・クリニック)がこれにあたります。



救急専用病床

(裏面に続く)



市民病院の救急外来を受診される方へ

緊急手術や重症の患者さまへの対応のため、救急診療をストップする場合や長時間お待ちいただく場合がありますので、**来院される際には、かならず電話で確認をしてください。**

06-6387-3311

平日 午後5時～翌朝午前9時
土・日・祝日・年末年始 終日

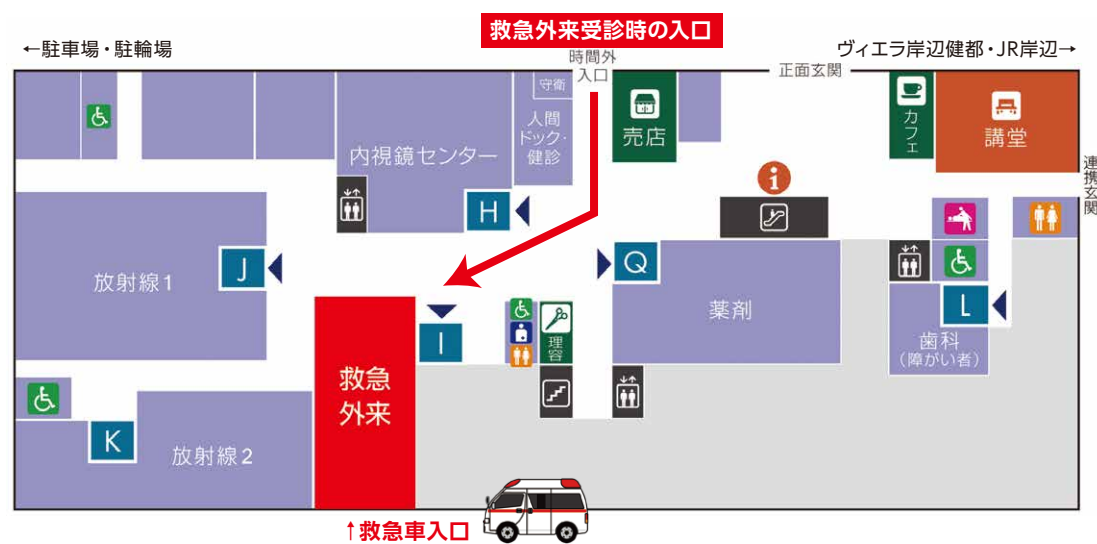


- 小児救急について、診療が出来ない時間帯があります。小児救急については下記を参照してください。
- 当院は2次救急指定病院です。入院や検査・手術・処置等が必要な方の救急診療を行っています。
- 救急診療を適切にご提供するために、緊急および重症患者さんを優先して診療いたします。
- 状況により精密検査等ができないことがあります。通常診察時間に再度来院していただく場合や他院へ紹介させていただくことがございますがご了承ください。



時間外小児救急

土曜日(祝日を除く)	午前9時～午後2時30分
月曜日～金曜日(祝日を除く)	午後5時～午後7時
祝日(日曜日を除く)	午前9時30分～午後4時30分
火・水・木・日曜日	午前7時～午前9時



その他の時間外小児救急

◆ 豊能広域こども急病センター	日曜・祝日・休日	午前8時30分～翌6時30分(診療開始時間は9時～)
◆ 吹田市立休日急病診療所	年末・年始(12/29～1/3)	午前9時30分～午前11時30分/午後1時～午後4時30分



困った時、「いざ」というとき

大阪府健康医療部パンフレットより

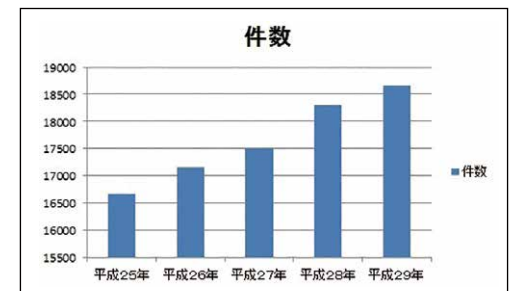
救急車は 本当に必要なひとのために 適正に使用しましょう

大阪府の救急搬送件数は年々増加しています。
救急車をむやみに呼ぶことは、救急を要する患者の対応を遅らせることになります。



救急車をタクシー代わりに利用するのは、やめたほうがいいですね。

救急車の適正利用といっても、呼べばいいか迷うときはどうしたら??



迷ったときは、下記の相談窓口にご連絡してください。また、持病のある方や、在宅医療をされている方は、急変時の対応を普段からご家族で話しておくことが大切です。

吹田市における平成29年の救急件数は18,653件となりました。
5年間で約2,000件増加し、出動件数は年々増加を続けています。
(吹田市消防本部資料より)

病院に行った方がいい? 救急車を呼んだ方がいい? 困ったときは、

夜間の子どもの急病時、病院に行った方がいいか判断に迷ったとき

救急安心センターおおさか
#7119 または 06-6582-7119



(注) 通話料はご利用者様の負担

子ども医療電話相談事業(#8000事業)
#8000 または 06-6765-3650



<20時～翌朝8時・年中無休>

(注) 通話料はご利用者様の負担

「アートにふれて心を癒す～展示解説生中継～」を開催しました

7月7日(日)、当院講堂において、博物館出張イベント「アートにふれて心を癒す～展示解説生中継～」を開催しました。

これは市立吹田博物館で開催の展示「西村公朝 作仏の心」の解説を、博物館より生中継をしたものです。また、立命館大学情報理工学部の協力を得て、博物館内にロボットを設置し、ロボットカメラの映像を通して学芸員が解説をしました。入院中の患者さま、そのご家族さま対象のイベントでしたが、多くの方に参加して頂き、好評のうちに終了しました。



当日の様子

